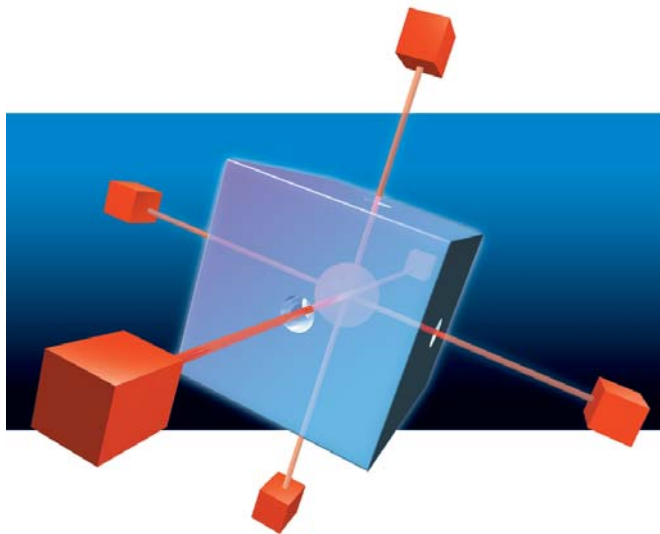


# ウイルスバスター™ コーポレートエディション



インストールガイド

Windows Vista 版

本書に関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書の記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本書およびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター On-Line-Scan、PC-cillin、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、ISVW、InterScanWebManager、ISWM、InterScan Message Security Suite、InterScan Web Security Suite、IWSS、TRENDMICRO SERVERPROTECT、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、GateLock、VSAPI、eDoctor、eManager、Trend Micro Policy Server、トレンドマイクロ・プレミアム・サポート・プログラム、Certified Rescue Partner、License for Enterprise Information Security、LEISec、Trend Park、Trend Labs、Trend Micro Enterprise Protection Strategy、RBL+、Phish Checker、スパイバスター、InterScan Gateway Security Appliance、Trend Micro Network VirusWall、Network VirusWall Enforcer、Trend Flex Security、EPS、Trend Micro EPSは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本書に記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2007 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N: OSFFFF-AE0300\_R1 (2007/7)

---

# 目次

第 1 章 クライアントインストールの計画 .....	5
インストール要件 .....	6
アップデートエージェントの要件 .....	7
サポートされない機能 .....	7
インストール方法 .....	8
概要 .....	9
第 2 章 ウイルスバスター Corp. クライアントのインストール .....	11
新規インストールの実行 .....	12
Web インストールページからのインストール .....	12
Client Packager によるインストール .....	14
ウイルスバスター Corp. Web コンソールからのインストール .....	23
脆弱性検索ツールによるインストール .....	25
ウイルスバスター Corp. クライアントのアップグレード .....	27
他社製ウイルス対策製品からの移行 .....	27
自動的なクライアントの移行 .....	27
インストール後のタスク .....	28
クライアントのインストール、アップグレード、または移行の確認 .....	29
コンポーネントアップデートの開始 .....	32
EICAR テストスクリプトによるウイルスバスター Corp. のテスト .....	33
クライアントのアンインストール .....	34
Web コンソールのアンインストール .....	34
クライアントアンインストールプログラムの実行 .....	35

<b>第 3 章 製品サポート情報</b> .....	<b>37</b>
サポートサービスについて .....	37
製品 Q&A のご案内 .....	38
セキュリティ情報 .....	39
セキュリティ情報の入手先 .....	39
トレンドマイクロへのウイルス解析依頼 .....	40
ウイルス解析サポートセンター「TrendLabs」 .....	40

# クライアントインストールの計画

この章で説明する内容には、次の項目が含まれます。

- 6 ページの「インストール要件」
- 7 ページの「アップデートエージェントの要件」
- 7 ページの「サポートされない機能」
- 8 ページの「インストール方法」

# インストール要件

Windows Vista が稼動しているコンピュータにウイルスバスター コーポレートエディション (以下、ウイルスバスター Corp.) クライアントをインストールするための要件は次のとおりです。

## OS

- Microsoft Windows Vista Business 32-bit Edition
- Microsoft Windows Vista Enterprise 32-bit Edition
- Microsoft Windows Vista Ultimate 32-bit Edition
- Microsoft Windows Vista Business 64-bit Edition
- Microsoft Windows Vista Enterprise 64-bit Edition
- Microsoft Windows Vista Ultimate 64-bit Edition

## ハードウェア

- 800MHz Intel Pentium または同等の CPU  
AMD x64, Extended Memory 64 Technology (EM64T) プロセッサアーキテクチャもサポート
- 1GB の RAM
- 200MB のハードディスク空き容量
- 800 x 600 の解像度、256 色をサポートするモニタ

## その他

Microsoft Internet Explorer 7.0 以降 (Web セットアップを実行する場合)

---

**注意：** システム要件に記載されているオペレーティングシステムの種類やハードディスク容量などは、本ドキュメント作成時点の情報です。システム要件は、オペレーティングシステムのサポート終了や、弊社製品の改良、検索エンジンやパターンファイルのバージョンアップなどに伴い、変更、追加、または削除される場合があります。また、製品の運用環境によっては、ログファイルの保存、他のソフトウェアとの共存などにより、必要となるメモリサイズやハードディスク容量も異なりますので、ご注意ください。最新のシステム要件については、弊社 Web サイトやサポート窓口にご確認ください。

---

## アップデートエージェントの要件

- 800MHz Intel Pentium または同等の CPU
- 1GB の RAM
- 700MB のハードディスク空き容量

## サポートされない機能

Windows Vista を稼働中のコンピュータでは、ウイルスバスター Corp. のプログラムと機能のうち、以下のものを使用することはできません。

- Microsoft Outlook メール検索
- CheckPoint SecureClient サポート
- Cisco NAC 2
- Watchdog DLL インジェクション機能

- Image Setup ユーティリティ (Imgsetup.exe)

---

**注意：** Image Setup ユーティリティ (Imgsetup.exe) はサポートされませんが、サーバの状態によって、クライアントは自動的に GUID を変える機能があります。

---

## インストール方法

ここでは、異なるクライアントのインストール方法の概要を説明し、ご使用のネットワーク環境に最も適したものを決定できるようにします。すべてのインストール方法は、対象コンピュータ上に内蔵された管理者権限を必要とします。

### Web インストールページ

社内ユーザに、Web インストールページにてクライアントセットアップファイルをダウンロードするよう指示します（12 ページの「Web インストールページからのインストール」を参照）。

### Client Packager

クライアントのセットアップファイルやアップデートファイルを作成し、クライアントユーザに送信してください（14 ページの「Client Packager によるインストール」を参照）。Client Packager を使用して MSI パッケージを作成する場合、Active Directory または Microsoft SMS を使用して、パッケージを配信することができます。

詳細については、以下のトピックを参照してください。

- 18 ページの「Active Directory を使用した MSI パッケージの配信」
- 19 ページの「Microsoft SMS を使用した MSI パッケージの配信」

## リモートインストール

Web コンソールから、サポートするプラットフォームが稼動しているコンピュータ上の、クライアントプログラムをインストールしてください (23 ページの「ウイルスバスター Corp. Web コンソールからのインストール」を参照)。

## 脆弱性検索ツール

脆弱性検索ツール (Vulnerability Scanner) を使用して保護されていないコンピュータにクライアントプログラムをインストールします (25 ページの「脆弱性検索ツールによるインストール」)。

## 概要

表 1-1. ウイルスバスター Corp. クライアントのインストール方法

	Web インストール ページ	Client Packager	Microsoft SMS による 配布	Active Directory による配布	リモートイ ンストール	脆弱性検索 ツール
WAN 配信に適している	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
集中的管理に適している	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい
クライアントユーザの操作が必要	はい	はい	はい / いいえ	はい / いいえ	いいえ	いいえ
IT リソースが必要	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい
大量配信に適している	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
帯域幅の消費	多い	少ない (予 約の場合)	少ない (予 約の場合)	多い (複数 のクライア ントが同時 にスタート する場合)	多い	多い



# ウイルスバスター Corp. クライアントのインストール

## インストールのシナリオ

- 12 ページの「新規インストールの実行」
- 27 ページの「ウイルスバスター Corp. クライアントのアップグレード」
- 27 ページの「他社製ウイルス対策製品からの移行」
- 28 ページの「インストール後のタスク」

## 推奨するインストール後のタスク

- 29 ページの「クライアントのインストール、アップグレード、または移行の確認」
- 32 ページの「コンポーネントアップデートの開始」
- 33 ページの「EICAR テストスクリプトによるウイルスバスター Corp. のテスト」

## その他のタスク

- 34 ページの「クライアントのアンインストール」

# 新規インストールの実行

クライアントプログラムをインストールする前に、クライアントコンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。終了しないと、インストールプロセスが完了するまでに時間がかかることがあります。

## Web インストールページからのインストール

Microsoft Internet Information Server (IIS) 5.0 以降または Apache 2.0.54 搭載の Windows 2000 ServerやWindows Server 2003を実行するコンピュータに、ウイルスバスター Corp. サーバをインストールした場合、クライアントユーザは、サーバインストール時に作成された Web インストールページから、クライアントプログラムをインストールすることができます。Web インストールページでクライアントセットアップファイルをダウンロードするように、ユーザに指示してください。

---

**ヒント:** 脆弱性検索ツールを使用して、インストールの指示に従わないクライアントを、Webインストールページで確認できます (詳細については、29ページの「脆弱性検索ツールによるクライアントインストールの確認」を参照)。

---

## 要件

- Microsoft Internet Explorer7.0のセキュリティレベルは、少なくとも ActiveX コントロールを許可するレベルに設定します。
- コンピュータに組み込みの管理者権限

Web インストールページからウイルスバスター Corp. クライアントをインストールするよう、ユーザに指示を送信します。

## Web インストールページからインストールするには

### インストール前

1. 組み込みの管理者アカウントを使用して、Windows Vista のコンピュータにログオンします。
2. Internet Explorer を開いて、[ ツール ] → [ インターネット オプション ] → [ セキュリティ ] の順にクリックします。「インターネット」ゾーンが初期設定で選択されています。
3. [ レベルのカスタマイズ ] をクリックします。
4. [ ActiveX コントロールとプラグイン ] で、[ ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示 ] を有効にします。

---

**注意：** ウイルスバスター Corp. クライアントを正常にインストールするため、ActiveX コントロールをインストールする必要があります。

---

### インストール

1. Internet Explorer を起動し、次の URL のいずれかを入力します。
  - SSL が有効なウイルスバスター Corp. サーバの場合  
https://{ウイルスバスター Corp. サーバ}:{ポート}/officescan
  - SSL が無効なウイルスバスター Corp. サーバの場合  
http://{ウイルスバスター Corp. サーバ}:{ポート}/officescan
2. [ ネットワーク上のコンピュータ ] の下のリンクをクリックします。

3. 新しい画面が表示されたら、[インストール] をクリックし、ウイルスバスター Corp. クライアントのインストールを開始します。クライアントのインストールがスタートします。

インストール後、Windows のタスクトレイにウイルスバスター Corp. クライアントのアイコンが表示されます。



## Client Packager によるインストール

Client Packager はセットアップファイルおよびアップデートファイルを自己解凍型ファイルに圧縮でき、この圧縮ファイルをCD-ROMなどのメディアを使用してユーザに配布することができます。このパッケージを受け取ったユーザは、セットアッププログラムをクライアントコンピュータで実行するだけクライアントを実行できます。

Client Packager は特に、クライアントのセットアップファイルやアップデートファイルを、回線容量が小さく離れた場所にあるクライアントに配布する場合に便利です。Client Packager を使用してインストールするウイルスバスター Corp. クライアントは、Client Packager がセットアップパッケージを作成したサーバにレポートします。

## Client Packager によって作成された自己解凍型ファイル

- 実行可能ファイル: この共通ファイルタイプには .exe 拡張子があります。
- Microsoft Installer (MSI) Package Format: このファイルタイプは、Microsoft の Windows Installer パッケージ仕様に準拠しています。MSI パッケージを既存のメディアで配布したり、Active Directory および Microsoft SMS を使用することができます。詳細については 18 ページの「Active Directory を使用した MSI パッケージの配信」および 19 ページの「Microsoft SMS を使用した MSI パッケージの配信」を参照してください。MSI の詳細は、Microsoft の Web サイトを参照してください。

## クライアントコンピュータの要件

- 160MB 以上のハードディスク空き容量
- Windows Installer 2.0 (MSI パッケージ起動のため)

## Client Packager を使用してパッケージを作成するには

1. ウイルスバスター Corp. サーバコンピュータで、¥PCCSRV¥Admin¥Utility¥ClientPackager に移動します。
2. ClnPack.exe をダブルクリックして、このツールを起動します。Client Packager コンソールが開きます。
3. 作成するパッケージのタイプを選択します。
  - Setup: ウイルスバスター Corp. クライアントプログラムをインストールする場合に選択します。実行可能ファイルが作成されます。
  - Update: ウイルスバスター Corp. クライアントコンポーネントのみをアップデートする場合に選択します。ここでも実行可能ファイルが作成されます。
  - MSI Package: Microsoft Installer Package 形式に準拠するパッケージを作成する場合に選択します。
4. 実行可能ファイルを作成する場合は、作成するパッケージの OS を選択します。
5. 次のインストールオプションの中から選択します。
  - Silent Mode: クライアントコンピュータにバックグラウンドでインストールするパッケージを作成します。クライアントに負荷が生じることはなく、インストールステータスウィンドウも表示されません。
  - Update Agent: クライアントがアップデートエージェントとして機能できるようになります (アップデートエージェントは、ウイルスバスター Corp. サーバによるクライアントへのコンポーネント配布を可能にする代替サーバです)。Client Packager を使用してウイルスバスター Corp. クライアントプログラムをインストールし、アップデートエージェントオプションを有効にする場合は、予約アップデート設定ツールを使用して、予約アップデートを設定する必要があります (17 ページの「予約アップデート設定ツールの使用」を参照)。

**ヒント：** Client Packager を使用してウイルスバスター Corp. クライアントプログラムをインストールし、アップデートエージェントオプションが有効になっている場合、そのクライアントが登録されているウイルスバスター Corp. サーバは、アップデートエージェント権限、クライアントの予約アップデート、トレンドマイクロのアップデートサーバからのアップデート、その他のアップデート元からのアップデートの設定を同期したり変更することができません。

ウイルスバスター Corp. サーバに登録されていないクライアントコンピュータのみにインストールし、アップデートエージェントを設定してウイルスバスター Corp. サーバ以外のアップデート元からアップデートを取得することをお勧めします。上で説明したアップデートエージェント設定を変更したい場合は、Client Packager 以外のクライアントプログラムインストール方法を使用してください。

---

- Force overwrite with latest version: 古いバージョンを最新バージョンで上書きします。[Update] をパッケージタイプとして選択する場合のみ適用されません。
  - Disable Prescan (新規インストールのみ): ウイルスバスター Corp. がインストール前に実行するファイル検索を無効にします。
6. インストールパッケージに含めるコンポーネントを選択します。
  7. [Source file] で、ofcscan.iniファイルの場所が正しいことを確認します。パスを変更するには、 をクリックして ofcscan.ini ファイルを参照します。初期設定では、このファイルはウイルスバスター Corp. サーバの ¥PCCSRV フォルダにあります。
  8. [Output file] で、 をクリックしてクライアントパッケージを作成したい場所とファイル名 (例: ClientSetup.exe) を指定します。
  9. [Create] をクリックします。Client Packager でパッケージの作成が終了すると、「パッケージが正常に作成されました」という内容のメッセージが表示されます。パッケージが正常に作成されたことを確認するために、指定した出力ディレクトリを確認してください。

10. パッケージを配信します。

- ユーザにパッケージを配信し、.exe ファイルを右クリックしてコンピュータのクライアントパッケージを実行するよう指示し、[ 管理者として実行 ] を選択します。

---

**警告：** パッケージの作成場所をサーバにレポートするウイルスバスター Corp. クライアントのユーザのみに、パッケージを送信してください。

---

- .msi ファイルを作成した場合、Active Directory または Microsoft SMS を使用することができます。18 ページの「Active Directory を使用した MSI パッケージの配信」または 19 ページの「Microsoft SMS を使用した MSI パッケージの配信」を参照してください。

## 予約アップデート設定ツールの使用

予約アップデート設定ツールを使用して、Client Packager を使用してインストールしたアップデートエージェントとして機能しているウイルスバスター Corp. クライアントで予約アップデートを有効にして設定します。このツールは、Client Packager がインストールするアップデートエージェントでのみ使用可能です。

### 予約アップデート設定ツールを使用するには

1. Client Packager でインストールしたアップデートエージェントで、Windows Explorer を開きます。
2. ウイルスバスター Corp. クライアントフォルダに移動します。
3. SUCTool.exe をダブルクリックして、このツールを起動します。予約アップデート設定ツールコンソールが開きます。
4. [ 予約アップデートの有効化 ] を選択します。
5. アップデート間隔と時間を指定します。
6. [ 適用 ] をクリックします。

## Active Directory を使用した MSI パッケージの配信

Active Directory 機能を利用して MSI パッケージを複数のクライアントコンピュータに同時に配信することができます。MSI ファイルの作成については、14 ページの「Client Packager によるインストール」を参照してください。

### Active Directory を使用して MSI パッケージを配信するには

1. Active Directory コンソールを開きます。
2. MSI パッケージを配信したい Organizational Unit (OU) を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
3. グループポリシータブで、[新規] をクリックします。
4. [コンピュータ設定] または [ユーザ設定] のいずれかを選択し、その下にある [ソフトウェア設定] を開きます。

---

**ヒント:** [ユーザ設定] ではなく [コンピュータ設定] を使用して、コンピュータにログオンするユーザの種類に関係なく MSI パッケージをインストールすることをお勧めします。

---

5. [ソフトウェア設定] で、[ソフトウェアのインストール] を右クリックし、[新規] および [パッケージ] を選択します。
6. [MSI パッケージ] を選択します。
7. 配信方法を選択して、[OK] をクリックします。
  - 割り当て: MSI パッケージは、ユーザが次回コンピュータにログオンするとき ([ユーザ設定] を選択した場合)、またはコンピュータが再起動するとき ([コンピュータ設定] を選択した場合) に、自動的に配信されます。この方法では、ユーザは操作する必要はありません。
  - 発行: MSI パッケージを実行するには、[コントロールパネル] に進み、[プログラムの追加と削除] 画面を開き、ネットワーク上の [プログラムの追加と削除] のオプションを選択します。ウイルスバスター Corp. クライアントの MSI パッケージが表示されたら、クライアントのインストールを進めることができます。

## Microsoft SMS を使用した MSI パッケージの配信

Microsoft SMS (Systems Management Server) を使用して、MSI パッケージを配信することができます。ただし、サーバに Microsoft BackOffice SMS をインストールしておく必要があります。

MSI ファイルの作成手順については、14 ページの「Client Packager によるインストール」を参照してください。

---

**注意：** ここで説明する手順は、Microsoft SMS 2.0 および SMS 2003 をお使いの場合を対象としています。

---

SMS は、パッケージを対象コンピュータに配信する前に、ウイルスバスター Corp. サーバから MSI ファイルを取得しておく必要があります。

- ローカル：SMS サーバとウイルスバスター Corp. サーバが同一コンピュータ上にある場合です。
- リモート：SMS サーバとウイルスバスター Corp. サーバが別のコンピュータ上にある場合です。

## パッケージをローカルで取得するには

1. SMS 管理コンソールを開きます。
2. [ ツリー ] タブの [ パッケージ ] をクリックします。
3. [ 操作 ] メニューから、[ 新規作成 ] → [ 定義からのパッケージ ] の順にクリックします。[ 定義に基づくパッケージの作成ウィザード ] 画面が表示されます。
4. [ 次へ ] をクリックします。[ パッケージ定義 ] 画面が表示されます。
5. [ 参照 ] をクリックします。[ ファイルを開く ] 画面が表示されます。
6. Client Packager によって作成された MSI ファイルを探し、[ 開く ] をクリックして開きます。[ パッケージ定義 ] 画面に MSI パッケージ名が表示されます。パッケージには「ウイルスバスター Corp. クライアント」と、プログラムのバージョンが表示されています。
7. [ 次へ ] をクリックします。[ ソース ファイル ] 画面が表示されます。
8. [ 常にソースディレクトリからファイルを取得する ] をクリックし、[ 次へ ] をクリックします。  
[ ソースディレクトリ ] 画面が表示されます。ここには、作成するパッケージの名前とパッケージに含まれるファイルが置かれているディレクトリが表示されます。
9. [ サイトサーバのローカルドライブ ] をクリックします。
10. [ 参照 ] をクリックして、MSI ファイルが含まれているソースディレクトリを選択します。
11. [ 次へ ] をクリックします。ウィザードによってパッケージが作成されます。パッケージの作成が完了すると、パッケージの名前が SMS 管理ツールのコンソールに表示されます。

## パッケージをローカルで取得するには

1. ウイルスバスター Corp. サーバで、Client Packager を使用し、.exe 拡張子が付いたセットアップパッケージを作成します (.msi パッケージは作成されません)。詳細については、14 ページの「Client Packager によるインストール」を参照してください。

2. パッケージを格納する実行元コンピュータ上で、共有フォルダを作成します。
3. SMS 管理コンソールを開きます。
4. [ ツリー ] タブの [ パッケージ ] をクリックします。
5. [ 操作 ] メニューから、[ 新規作成 ] → [ 定義からのパッケージ ] の順にクリックします。[ 定義に基づくパッケージの作成ウィザード ] 画面が表示されます。
6. [ 次へ ] をクリックします。[ パッケージ定義 ] 画面が表示されます。
7. [ 参照 ] をクリックします。[ ファイルを開く ] 画面が表示されます。
8. MSI パッケージファイルを参照します。MSI パッケージファイルは、先ほど作成した共有フォルダにあります。
9. [ 次へ ] をクリックします。[ ソース ファイル ] 画面が表示されます。
10. [ 常にソースディレクトリからファイルを取得する ] をクリックし、[ 次へ ] をクリックします。[ ソース ディレクトリ ] 画面が表示されます。
11. [ ネットワークパス (UNC 名) ] をクリックします。
12. [ 参照 ] をクリックして、MSI ファイルが含まれているソースディレクトリ (先ほど作成した共有フォルダ) を選択します。
13. [ 次へ ] をクリックします。ウィザードによってパッケージが作成されます。パッケージの作成が完了すると、パッケージの名前が SMS 管理ツールのコンソールに表示されます。

## 対象コンピュータにパッケージを配布するには

1. [ ツリー ] タブの [ 提供情報 ] をクリックします。
2. [ 操作 ] メニューから、[ すべてのタスク ] → [ ソフトウェア配布 ] の順にクリックします。[ ソフトウェア配布ウィザード ] 画面が表示されます。
3. [ 次へ ] をクリックします。[ パッケージ ] 画面が表示されます。
4. [ 既存のパッケージを配布する。 ] をクリックした後に、作成したセットアップパッケージの名前をクリックします。
5. [ 次へ ] をクリックします。[ 配布ポイント ] 画面が表示されます。

6. パッケージのコピー先となる配布ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。[プログラムの提供] 画面が表示されます。
  7. [はい] をクリックして、[次へ] をクリックします。[提供情報のターゲット] 画面が表示されます。
  8. [参照] をクリックして対象コンピュータを選択します。[コレクションの参照] 画面が表示されます。
  9. [すべての Windows NT システム] をクリックします。
  10. [OK] をクリックします。[提供情報のターゲット] 画面が再度表示されます。
  11. [次へ] をクリックします。[提供情報の名前] 画面が表示されます。
  12. テキストボックスに提供情報の名前とコメントを入力し、[次へ] をクリックします。[サブコレクションへの提供] 画面が表示されます。
  13. パッケージをサブコレクションに提供するかどうかを決定します。[指定したコレクションのメンバだけにプログラムを提供する] または [サブコレクションのメンバにプログラムを提供する] を選択できます。
  14. [次へ] をクリックします。[提供情報のスケジュール] 画面が表示されます。
  15. 日時を入力するリストボックスから選択して、クライアントセットアップパッケージをいつ提供するか指定します。

特定の日付にパッケージの提供を停止するように Microsoft SMS を設定するには、[はい] をクリックします。この提供情報に有効期限を設定する場合、有効期限の日時のリストボックスに日時を指定します。
  16. [次へ] をクリックします。[プログラムの割り当て] 画面が表示されます。
  17. [プログラムを割り当てる] をクリックし、[次へ] をクリックします。

提供情報が作成され、SMS 管理ツールのコンソールに表示されます。
- 提供されたプログラム (ウイルスバスター Corp. クライアント) が対象コンピュータに配布されると、対象コンピュータごとに画面が表示されます。[はい] をクリックし、ウィザードの指示に従って、ウイルスバスター Corp. クライアントをコンピュータにインストールするようにユーザに指示しておきます。

## Microsoft SMS を使用してインストールする場合の既知の問題

- SMS コンソールの [ 実行時間 ] 列に「不明」と表示されます。
- インストールが成功しなかった場合でも、SMS プログラムモニタ上でインストール完了のステータスが示される可能性があります。インストール結果の確認方法については、29ページの「脆弱性検索ツールによるクライアントインストールの確認」を参照してください。

## ウイルスバスター Corp. Web コンソールからのインストール

ウイルスバスター Corp. クライアントを、ネットワークに接続された 1 台以上の Windows Vista コンピュータにリモートインストールすることができます。リモートインストールを行うためには、インストール先コンピュータに対して内蔵の管理者権限があることを確認してください。リモートインストールではウイルスバスター Corp. クライアントを、すでにウイルスバスター Corp. サーバが起動しているコンピュータにはインストールしません。

## ウイルスバスター Corp. Web コンソールからクライアントをインストールするには

### インストール前

1. Windows Vista コンピュータの組み込みの管理者アカウントを有効にし、アカウント用のパスワードを設定します。
2. Windows ファイアウォールを無効にします。
  - a. [ スタート ] → [ プログラム ] → [ 管理ツール ] → [ セキュリティが強化された Windows Firewall ] の順にクリックします。
  - b. ドメインプロファイル、プライベートプロファイル、パブリックプロファイル用に、ファイアウォールの状態を「オフ」にしておきます。

3. Windows の [ サービス ] 画面を開き ([ スタート ] → [ ファイル名を指定して実行 ] をクリックして、「services.msc」と入力)、リモートレジストリサービスを開始します。

## インストール

1. Web コンソールで、[ ネットワーク上のコンピュータ ] → [ クライアントのインストール ] → [ リモート ] の順にクリックしてください。
2. インストール先コンピュータを選択します。
  - 「ドメインとコンピュータ」リストに、ネットワーク上のすべての Windows ドメインが表示されます。ドメイン下のコンピュータを表示するには、ドメイン名をダブルクリックします。コンピュータを選択して、[ 追加 ] をクリックします。
  - 特定のコンピュータ名を考えている場合は、そのコンピュータ名をページ最上部のフィールドに入力して [ 検索 ] をクリックします。

インストール先コンピュータのユーザ名とパスワードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。必ず管理者アカウントユーザ一名とパスワードを使用して、続行してください。

3. ユーザ名とパスワードを入力してから、[ ログイン ] をクリックします。インストール先コンピュータが、「選択したコンピュータ」テーブルに表示されます。
4. さらにコンピュータを追加するには、ステップ 2 と 3 を繰り返します。
5. クライアントをインストール先コンピュータにインストールする準備ができたら、[ インストール ] をクリックします。確認ボックスが表示されます。
6. [ はい ] をクリックすると、インストール先コンピュータへのクライアントのインストールが確定します。各々のインストール先コンピュータへプログラムファイルがコピーされるたびに、進捗画面が表示されます。

インストール先コンピュータへのインストールが完了すると、コンピュータ名が「選択したコンピュータ」リストの中から消えて「ドメインとコンピュータ」リストの中に赤いチェックマークとともに表示されます。

すべてのインストール先コンピュータが赤いチェックマークとともに「ドメインとコンピュータ」リストの中に表示されると、リモートインストールは完了です。

---

**注意：** 複数のコンピュータをインストールする場合、ウイルスバスター Corp. は失敗したインストールがあればログに記録しますが、他のインストールを先送りにはしません。[インストール] をクリックした後は、インストールを監督する必要はありません。後でログをチェックして、インストール結果を確認してください。

---

## 脆弱性検索ツールによるインストール

脆弱性検索ツールを使用して、インストールされているウイルス対策製品を検出し、ウイルス対策の実施されていないコンピュータをネットワーク内で検索し、そのコンピュータにウイルスバスター Corp. クライアントをインストールします。コンピュータを保護する必要があるかどうかを決定するには、脆弱性検索ツールは、ウイルス対策ソリューションが通常使用するポートをピングします。

ここでは、脆弱性検索ツールを使用してウイルスバスター Corp. クライアントプログラムをインストールする方法について説明します。脆弱性検索ツールを使用してウイルス対策製品を検出する方法については、管理者ガイドおよびウイルスバスター Corp. サーバのオンラインヘルプの管理ツールセクションを参照してください。

---

**注意：** 脆弱性検索ツールを使用して、ウイルスバスター Corp. クライアントを、ウイルスバスター Corp. サーバがインストールされたコンピュータにインストールすることができます。

---

## 脆弱性検索ツールを使用してウイルスバスター Corp. クライアントをインストールするには

### インストール前

1. Windows Vista コンピュータの組み込みの管理者アカウントを有効にし、アカウント用のパスワードを設定します。

2. Windows ファイアウォールを無効にします。
  - a. [スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[セキュリティが強化された Windows Firewall] の順にクリックします。
  - b. ドメインプロファイル、プライベートプロファイル、パブリックプロファイル用に、ファイアウォールの状態を「オフ」にしておきます。
3. Windows の [サービス] 画面を開き ([スタート]→[ファイル名を指定して実行]) をクリックして、「services.msc」と入力し)、リモートレジストリサービスを開始します。

## インストール

1. ウイルスバスター Corp. サーバをインストールしたコンピュータで、¥OfficeScan¥PCCSRV¥Admin¥Utility¥TMVS を開いてください。TMVS.exe をダブルクリックすると、脆弱性検索ツールのコンソールが表示されます。
2. [Settings] をクリックします。
3. [Officescan server settings ] の下に、ウイルスバスター Corp. サーバ名とポート番号を入力してください。
4. [Auto-install OfficeScan Client on unprotected computer] を選択します。
5. [OK] をクリックし、ネットワーク上のコンピュータに対する調査を開始し、ウイルスバスター Corp. クライアントのインストールを開始します。

# ウイルスバスター Corp. クライアントのアップグレード

体験版から製品版のウイルスバスター Corp. にアップグレードできます。ウイルスバスター Corp. サーバをアップグレードする場合、使用可能なインストール方法でクライアントインストールを実行すれば、クライアントは自動的にアップグレードされます（詳細とインストール方法については、8 ページの「インストール方法」を参照）。

## 他社製ウイルス対策製品からの移行

他社製ウイルス対策製品から移行するには、次の 2 つの作業を実行してください。ウイルスバスター Corp. サーバをインストールし、続いてクライアントを自動的に移行します。

### 自動的なクライアントの移行

自動的なクライアントの移行とは、既存のウイルス対策製品を、ウイルスバスター Corp. クライアントに置き換えることです。クライアントのセットアッププログラムは、自動的に既存のソフトウェアをアンインストールして、ウイルスバスター Corp. クライアントで置き換えます。

---

**注意：** ウイルスバスター Corp. がアンインストールするのは、サーバではなくクライアントのみです。

---

ウイルスバスター Corp. が自動的にアンインストールするアプリケーションを確認するには、¥Trend Micro¥OfficeScan¥PCCSRV¥Admin の以下のファイルを開いてください。

tmuninst.ptn

tmuninst\_as.ptn

## クライアント移行の問題

- クライアント移行は正常に行われても、インストール後にウイルスバスター Corp. クライアント権限について問題が生じる場合は、コンピュータを再起動してください。
- クライアントのセットアッププログラムが、ユーザコンピュータの既存のウイルス対策プログラムを自動的にアンインストールできないように求めてくる場合は、以下のタスクを実行してください。
  - 既存のウイルス対策ソフトウェアを手動でアンインストールします。ソフトウェアのアンインストールプロセスによって、アンインストール後に再起動の必要がある場合とない場合があります。
  - 12 ページの「新規インストールの実行」で説明されているインストール方法を用いて、ウイルスバスター Corp. クライアントをアンインストールします。
- クライアントのセットアッププログラムがウイルスバスター Corp. クライアントのインストールを続行して、既存のウイルス対策ソフトウェアをアンインストールしなかった場合は、同じコンピュータにインストールされた 2 つのクライアントソフトウェアが競合している可能性があります。この場合、両方のソフトウェアをアンインストールしてから、12 ページの「新規インストールの実行」で説明しているインストール方法を用いてウイルスバスター Corp. クライアントをインストールしてください。

## インストール後のタスク

トレンドマイクロでは、以下のインストール後のタスクをお勧めしています。

- 29 ページの「クライアントのインストール、アップグレード、または移行の確認」
- 32 ページの「コンポーネントアップデートの開始」
- 33 ページの「EICAR テストスクリプトによるウイルスバスター Corp. のテスト」

## クライアントのインストール、アップグレード、または移行の確認

インストールまたはアップグレードの完了後に、次の事項を確認してください。

- クライアントコンピュータの Windows [ スタート ] メニューに「ウイルスバスター Corp. クライアント」のショートカットがあること。
- クライアントコンピュータのコントロールパネルの [ プログラムの追加と削除 ] 一覧に「ウイルスバスター Corp. クライアント」があること。
- Windows サービスに含まれているウイルスバスター Corp. クライアントサービス。
  - OfficeScan NT Listener
  - OfficeScan NT Firewall ( インストール中にファイアウォールが使用できなかった場合 )
  - OfficeScan NT Proxy Service
  - OfficeScan NT RealTimeScan
- インストールログ: 以下の場所にある OFCNT.LOG
  - MSI パッケージ以外の方法によるインストール - %windir%
  - MSI パッケージによるインストール - %temp%
- 脆弱性検索ツールを使用したインストールステータス ( 次のセクションを参照 )。

### 脆弱性検索ツールによるクライアントインストールの確認

予約タスクを作成して、脆弱性検索ツールを自動化することもできます。脆弱性検索ツールを自動化する方法の詳細については、ウイルスバスター Corp. のオンラインヘルプを参照してください。

## 脆弱性検索ツールを使用してクライアントのインストールを確認するには

1. ウイルスバスター Corp. サーバコンピュータで、¥OfficeScan¥PCCSRV ¥Admin¥Utility¥ TMVS を開きます。TMVS.exe をダブルクリックすると、脆弱性検索ツールのコンソールが表示されます。
2. [Settings] をクリックします。
3. [Product query] の [OfficeScan Corporate Edition/Security Server] のチェックボックスを選択して、サーバがクライアントとの通信に使用するポートを指定します。
4. [Normal retrieval] と [Quick retrieval] のどちらを使用するか選択します [Normal retrieval] の方が正確ですが、完了までに時間が長くなります。  
[Normal retrieval] をクリックした場合、[Retrieve computer descriptions when available] を選択することによって、コンピュータの説明がある場合に、脆弱性検索ツールがそれを取得するよう設定できます。
5. 検索結果を管理者である自分自身や同じ組織内の他の管理者に送るには、[Email results to the system administrator] を選択します。次に [Settings] をクリックして、メールの設定を指定します。
  - [To] テキストボックスに、受信者の メール アドレスを入力します。
  - [From] テキストボックスに自分の メール アドレスを入力します。これにより受信者は、メッセージの送信者がわかります。
  - [SMTP Server] に SMTP サーバのアドレスを入力します。たとえば smtp.company.com と入力します。これが必要な情報です。
  - [Subject] テキストボックスに新しい件名を入力するか、または初期設定を適用します。
6. [OK] をクリックして設定を保存します。
7. ウイルス対策の実施されていないコンピュータに警告を表示する場合、[Display a notification on unprotected computers] をクリックします。次に [Customize] をクリックし、警告メッセージを設定します。[Notification Message] 画面が表示されます。テキストボックスに新しい警告メッセージを入力するか、または初期設定のメッセージのまま、[OK] をクリックします。

8. 結果をコンマ区切りの値 (CSV) のデータファイルで保存するには、  
[Automatically save the results to a CSV file] のチェックボックスをオンにします。初期設定では、CSV データファイルは TMVS フォルダに保存されます。初期設定の CSV フォルダを変更するには、[Browse] をクリックし、コンピュータまたはネットワーク上の対象フォルダを選択して [OK] をクリックします。
9. [Ping Settings] で、脆弱性検索ツールがコンピュータにパケットを送信し、待機する方法を設定します。初期設定を適用するか、または [Packet size] フィールドと [Timeout] フィールドに新しい値を入力します。
10. [OK] をクリックします。脆弱性検索ツールのコンソールが表示されます。
11. 一定の範囲の IP アドレスに対して手動で脆弱性検索を実行するには、次の手順に従ってください。

---

**注意：** 脆弱性検索ツールではクラス B のサブネットワーク IP アドレスのみサポートしています。

---

- a. [Manual Scan] では、インストールされているウイルス対策製品にて、調べたいコンピュータの IP アドレスの範囲を入力します。
  - b. [Start] をクリックし、ネットワーク上のコンピュータに対する調査を開始します。
12. DHCP サーバから IP アドレスを要求するコンピュータに対して手動で脆弱性検索を実行するには、次の手順に従ってください。
    - a. [Results] ボックスの [DHCP Scan] タブをクリックします。[Start] ボタンが表示されます。
    - b. [Start] をクリックします。脆弱性検索ツールが、DHCP リクエストのリスニングおよび、ネットワークにログオンするコンピュータの脆弱性のチェックの実行を開始します。

脆弱性検索ツールは、ネットワークをチェックし、[Results] に表示します。すべてのデスクトップ/ノートブックコンピュータに、クライアントがインストールされていることを確認します。

脆弱性検索ツールは、ウイルス対策が実施されていないデスクトップ/ノートブックコンピュータを検出すると、設定されたクライアントインストール方法を使用して、そのコンピュータにクライアントをインストールします。

## コンポーネントアップデートの開始

コンポーネントをアップデートしてセキュリティリスクに対して最新の保護を実現していることを、クライアントに通知してください。

---

**注意：** このセクションでは手動アップグレードを開始する方法をご紹介します。自動アップグレードまたはアップグレード設定についての詳細は、ウイルスバスター Corp. サーバのオンラインヘルプを参照してください。

---

### コンポーネントをクライアントに配布するには

1. ウイルスバスター Corp. の Web コンソールを開きます。
2. メインメニューで、[アップグレード] → [ネットワーク上のコンピュータ] → [手動アップデート] をクリックします。[手動アップデート] 画面に、コンポーネントの概要、バージョン、最終のアップデート時刻が表示されます。
3. インストール先クライアントを選択します。アップデートされたコンポーネントを持つクライアントをアップデートするか、クライアントを手動で選択できます。
  - 期限切れのコンポーネントを使用しているクライアントを選択：サーバへの機能接続を持つスタンドアロンクライアントをオプションで含め、[アップデートを開始] をクリックします。
  - クライアントを手動で選択：このオプションを選択した後、[選択] をクリックして、クライアントツリーから特定クライアントを選択します。アップデートするクライアントを選択し、クライアントツリー最上層の [コンポーネントアップデートの開始] をクリックします。

サーバは各クライアントに、アップデートされたコンポーネントをダウンロードするように通知します。

## EICAR テストスクリプトによるウイルスバスター Corp. のテスト

トレンドマイクロでは、EICAR テストスクリプトを使用してウイルスバスター Corp. をテストし、それが機能することを確認するようにお勧めします。EICAR ヨーロッパコンピュータウイルス対策研究所は、ウイルス対策ソフトウェアの適切なインストールと設定を確認する安全な方法として、テストスクリプトを開発しました。詳細は EICAR Web サイトを訪問してください。

<http://www.eicar.org>

EICAR テストスクリプトは .com 拡張子のある不活性なテキストファイルです。それはウイルスコードのフラグメントを含まずウイルスではないのですが、大部分のウイルス対策ソフトウェアに反応します。このスクリプトを使用してウイルスをシミュレートし、メール通知およびウイルスログが正常に機能することを確認します。

---

**警告：** ウイルス対策製品のテストに本物のウイルスを決して使わないでください。

---

### EICARテストスクリプトを使用してウイルスバスター Corp.をテストするには

1. クライアントでリアルタイム検索を有効にします。
2. 次の文字列をコピーして、メモ帳またはテキストエディタに貼り付けます。  
X5O!P%@AP[4#PZX54(P^)7CC)7}\$EICAR-STANDARD-ANTIVIRUS-TEST-FILE!\$H+H\*
3. ファイルを EICAR.com として一時ディレクトリに保存します。ウイルスバスター Corp. がそのファイルを直ちに検出します。

4. ネットワーク上の他のコンピュータをテストするには、EICAR.com ファイルをメールメッセージに添付し、どれかのコンピュータに送信します。

---

**注意：** ウイルス検出を検証する際、zip 圧縮された EICAR ファイルでも確認することをお勧めします。圧縮ソフトウェアを使用して、テストスクリプトを圧縮し上の手順を実行してください。

---

## クライアントのアンインストール

クライアントからウイルスバスター Corp. を削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 34 ページの「Web コンソールのアンインストール」
- 35 ページの「クライアントアンインストールプログラムの実行」

### Web コンソールのアンインストール

ネットワーク上のコンピュータから、管理コンソールを使用してクライアントプログラムを削除（アンインストール）できます。クライアントプログラムをアンインストールすると、クライアントのセキュリティリスク対策機能も削除されるのでご注意ください。

#### Web コンソールからクライアントをアンインストールするには

1. ウイルスバスター Corp. の Web コンソールのメインメニューで、[ ネットワーク上のコンピュータ ] → [ クライアント管理 ] の順にクリックします。クライアントツリーが表示されます。
2. クライアントツリーで、ウイルスバスター Corp. クライアントをアンインストールするコンピュータを選択し、[ タスク ] → [ クライアントのアンインストール ] の順にクリックします。
3. [ クライアントのアンインストール ] 画面で、[ アンインストールの開始 ] をクリックします。サーバがクライアントに通知します。
4. 通知ステータスを確認し、通知を受け取っていないコンピュータがないか検証します。

- a. [未通知のコンピュータを選択]と[アンインストールの開始]を続けてクリックし、未通知のクライアントに直ちに通知を再送信してください。
- b. [アンインストールの停止]をクリックして、現在通知を受信しているクライアントへの通知を停止させます。すでに通知されたクライアントおよびアンインストールを実行しているクライアントは、このコマンドを無視します。

## クライアントアンインストールプログラムの実行

クライアントユーザに権限を付与した場合は、ユーザのコンピュータからクライアントアンインストールプログラムを使用してクライアントを削除するように指示します。詳細については、管理者ガイドおよびウイルスバスター Corp. サーバのオンラインヘルプを参照してください。

### クライアントのアンインストールプログラムを実行するには

1. Windows の [スタート] メニューで、[プログラム] → [ウイルスバスター Corp. クライアント] → [ウイルスバスター Corp. クライアントのアンインストール] の順にクリックします。[ウイルスバスター Corp. クライアントのアンインストール] 画面が表示され、アンインストール用のパスワードが求められます。
2. アンインストールパスワードを入力し、[OK] をクリックします。ウイルスバスター Corp. はユーザに、アンインストールの進行状況と完了を通知します。

ユーザは通常、アンインストールを完了するのにクライアントコンピュータを再起動する必要はありません。



# 製品サポート情報

ウイルスバスター コーポレートエディションのユーザ登録により、さまざまなサポートサービスを受けることができます。

トレンドマイクロのWeb サイトでは、ネットワークを脅かすウイルスやセキュリティに関する最新の情報を公開しています。ウイルスが検出された場合や、最新のウイルス情報を知りたい場合などにご利用ください。

## サポートサービスについて

サポートサービス内容の詳細については、製品パッケージに同梱されている「スタンダードサポート サービスメニュー」をご覧ください。

サポートサービス内容は、予告なく変更される場合があります。また、製品に関するお問い合わせについては、サポートセンターまでご相談ください。トレンドマイクロのサポートセンターへの連絡には、電話、FAX、メールなどをご利用ください。サポートセンターの連絡先は、「スタンダードサポート サービスメニュー」に記載されています。

サポート契約の有効期限は、ユーザ登録完了から1年間です（ライセンス形態によって異なる場合があります）。契約を更新しないと、パターンファイルや検索エンジンの更新などのサポートサービスが受けられなくなりますので、契約満了前に必ず更新してください。更新手続きの詳細は、トレンドマイクロの営業部、または販売代理店までお問い合わせください。

---

**注意：**サポートセンターへの問い合わせ時に発生する通信料金は、お客様の負担とさせていただきます。

---

## 製品 Q&A のご案内

トレンドマイクロの Web サイトでは、製品 Q&A の情報を提供しています。これは、トレンドマイクロの製品に関する技術的な質問と、それに対する回答を集めたものです。製品 Q&A には、次の URL からアクセスできます。

[http://esupport.trendmicro.co.jp/supportjp/supportcentral/supportcentral\\_adv\\_ja.do](http://esupport.trendmicro.co.jp/supportjp/supportcentral/supportcentral_adv_ja.do)

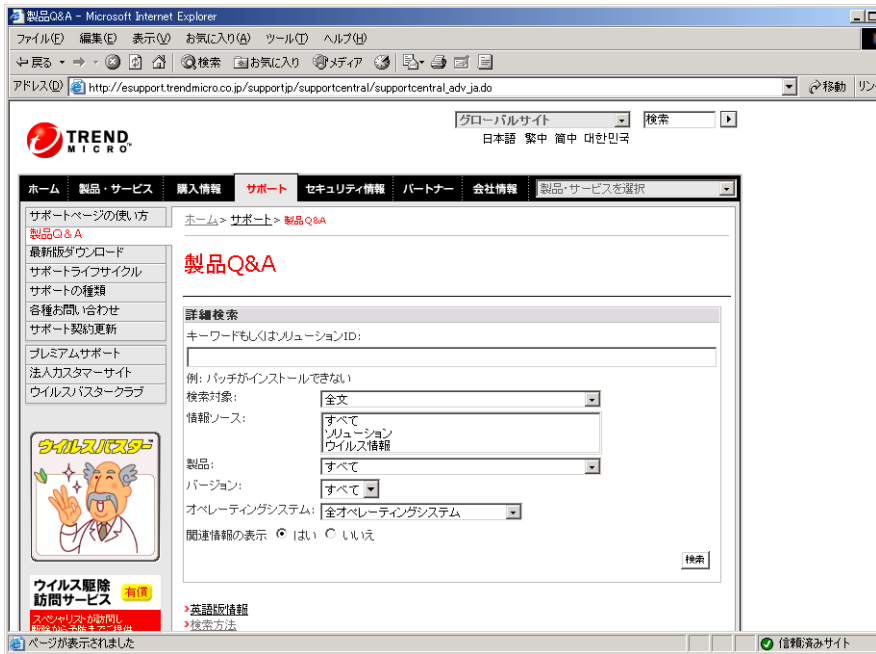


図 2-1 製品 Q&A の Web サイト

製品 Q&A では、お使いの製品名およびキーワードを指定して、知りたい情報を検索できます。たとえば製品のマニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどに記載されていない情報が必要な場合に、製品 Q&A を利用してください。

トレンドマイクロでは製品 Q&A の内容を常に更新し、新しい情報を追加しています。

# セキュリティ情報

## セキュリティ情報の入手先

トレンドマイクロでは、最新のセキュリティ情報をインターネットで公開しています。トレンドマイクロのセキュリティ情報 Web サイトでは、ウイルスやインターネットセキュリティに関する最新の情報を入手できます。セキュリティ情報 Web サイトは、次の URL からアクセスできます。

<http://www.trendmicro.co.jp/vinfo/>

管理コンソールからセキュリティ情報サイトにアクセスすることもできます。セキュリティ情報サイトにアクセスするには、管理コンソールの画面の右上にあるリストボックスから [セキュリティ情報] リンクを選択します。

セキュリティ情報 Web サイトでは、次の情報を閲覧できます。

- ウイルス名やキーワードから検索できるウイルスデータベース
- コンピュータウイルスの最新動向に関するニュース
- 現在流行中のウイルスや不正プログラムの情報
- デマウイルスまたは誤警告に関する情報
- ウイルスやネットワークセキュリティの予備知識

セキュリティ情報 Web サイトに定期的にアクセスして、流行中のウイルス情報などを入手することをお勧めします。メールによる定期的なウイルス情報配信を希望する場合は、警告メール配信の登録フォームを利用してメールアドレスを登録してください。

## トレンドマイクロへのウイルス解析依頼

ウイルス感染の疑いのあるファイルがあるのに、最新の検索エンジンおよびパターンファイルを使用してもウイルスを検出 / 駆除できない場合などに、感染の疑いのあるファイルをトレンドマイクロのサポートセンターへ送信していただくことができます。ファイルを送信いただく前に、トレンドマイクロのウイルスデータベース検索サイトにアクセスして、ウイルスを特定できる情報がないかどうか確認してください。

<http://www.trendmicro.co.jp/vinfo/virusencyclo/default.asp>

ファイルを送信いただく場合は、次の URL にアクセスして、サポートセンターの受付フォームからファイルを送信してください。

<http://inet.trendmicro.co.jp/esolution/supform.asp>

感染ファイルを送信する際には、感染症状について簡単に説明したメッセージを同時に送ってください。送信されたファイルがどのようなウイルスに感染しているかを、トレンドマイクロのウイルスエンジニアチームが解析し、回答をお送りします。

感染ファイルのウイルスを駆除するサービスではありません。ウイルスが検出された場合は、ご購入いただいた製品にてウイルス駆除を実行してください。

## ウイルス解析サポートセンター「TrendLabs」

トレンドマイクロのウイルス解析サポートセンター「TrendLabs」(トレンドラボ)は、フィリピンセンターを本部として、米国、日本、台湾、ドイツ、アイルランド、中国の各国センターで構成されています。24 時間体制でウイルスの活動を監視するウイルス解析エンジニアを含む 800 名以上 (2006 年 1 月現在) のスタッフが、セキュリティに関する最新の情報を収集し、高品質なサービスとソリューションを迅速かつ効果的に世界各国のトレンドマイクロのパートナーとお客さまに提供しています。

「TrendLabs」では、品質保証の ISO9001:2000 認定 (フィリピン)、国際規格 COPC-2000 規格 (フィリピン)、英国の国家規格 ITIL: BS15000 (ドイツ)、情報セキュリティマネジメントの英国規格 BS7799 (フィリピン) を取得しています。